

## アドミッション・ポリシー(看護学部)

本学の看護学部看護学科は、教育の理念に掲げた三つのいつくしみ、すなわち「智をいつくしむ」、「人をいつくしむ」、「命をいつくしむ」を具現化した人材を養成すべく、「幅広い教養と高い倫理観にもとづくヒューマンケアリングと、科学的知識ならびに合理的判断によって人びとの健康・生活・環境を適切に支援するとともに、これらの活動を通して看護固有の価値と専門性を発揮しつつ、これからの少子高齢社会の保健・医療・福祉に貢献し、また国際的視野に立って時代を切り拓く、実践的かつ創造的な看護専門職者を育成する。」ことを教育目的としている。したがって、教育目標・教育目的を達成し、資質の高い看護師を育成するために、以下をアドミッション・ポリシーとし、それに沿った学生を求める。

- ①看護職への明確な目的意識を持っている者
- ②共に生きる人間として人々と良い関係を築くのに積極的な者
- ③人の心身の健康や安寧に関心を持っている者
- ④主体的に勉学に取り組む心身の健康と強い意思を持った者

## アドミッション・ポリシー(大学院)

### [ 基本方針 ]

研究科では、学校教育施行規則第 155 条第 1 項第 8 号の規定に基づいて、4 年制大学の卒業生のみならず、短期大学及び専修学校の卒業生で一定の条件を満たす者には、個別の入学審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる場合には、出願資格を与え、学習意欲を持つ人々に修学の門戸を広げている。本研究科の教育目的、教育目標を達成するために、以下をアドミッション・ポリシーとし、それに沿った学生を求める。

- ①人への温かな関心と看護実践への情熱を持ち、看護学発展の一翼を担う自覚を持つ人
- ②自己の経験を内省し、主体的、自立的に学問的探究に努力できる人
- ③様々な現象を科学的根拠及び知識や理論を活用し論理的に考えることができる人
- ④住み慣れた地域においてQOLの高い生活の営みを支援するために地域包括ケアシステム構築の中心的役割を担う看護職として社会貢献に意欲のある人
- ⑤地域住民の健康に関心を持ち、個人、家族、集団、地域における複雑化・顕在化した健康問題の明確化とその解決に向けた実践を通して、将来保健師として社会貢献する意欲のある人